

賀詞交歓会、飛躍の年へ

しっかりと増税対応

石岡

石岡商工会議所が主催する石岡市の賀詞交歓会が9日、同市石岡のベル・アーシユで開かれ、関係者ら約150人が出席し、新年の抱負を述べ合った。

元号が変わる節目として今年も、開会前に常陸総社宮宮司の下、「新年特別祈願」を実施。その後、高木祐治会頭が「地方の中小企業を取り巻く状況は不透明だが、消費税増税の対応をしっかりと模索し、連携を図りながら地域活性化に努めていきたい」と抱負を述べ、来賓の今泉文彦市長は「新

庁舎が始動し、中身の充実への期待も大きい。共に連携し、時代を先取りした市政運営に取り組みたい」と抱負を述べた。

交歓会には国光文乃、青山大人両衆院議員、岡田広藤田幸久、上月良祐各参院議員らも駆け付け、それぞれ祝辞を述べた。最後に岡野孝男市議会議長が音頭を取り、石岡の3地酒で乾杯



賀詞交歓会出席者の前で披露された浦安の舞。石岡市

し、新年のスタートを切った。

市の魅力強く発信

結城

結城市と結城商工会議所、JA北つくばの合同賀詞交歓会が9日、同市国府町の市民情報センターで開かれた。各界から約280人が参加し、市のさらなる発展と飛躍を誓った。

結城商工会議所の中山徹雄会頭が開会の言葉を述べた。主催者を代表してあいさつした前場文夫市長は、本年は茨城国体で同市がバ

乾杯する参加者たち。結城市国府町



レーボール少年女子などの会場になることや、東京五輪に向けてカザフスタンの空手チームが事前キャンプを行うことを紹介。「選手や関係者、観客の皆さんを万全な態勢でお迎えするとともに、本市の魅力を強く内外に発信したい」と力を込めた。

来賓として、衆参国會議員や地元選出議員らが抱負を語った。JA北つくばの吉川君男代表理事組合長の発声で乾杯の後、参加者は和やかに歓談した。